

7月号

いっしん

平成27年(2015年)

第366号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

ことごとくに
なめてこそ知れ
物の味
わたり行く世も
かくぞとぞ思ふ
甘木親教会
初代親先生み致

甘木親教会 二代教会長 安武文雄大人 20年祭 12月23日(祝)
加治木教会 矢野サダ子真心白萩大刀自 3年祭 7月12日(日)



前夜に玄関幕を…



前日直会準備



美しく
賑やかに咲く
アマリリス

加治木教会 天地金乃神御大祭

仕えられる

青葉も、庭に咲く初夏の花々も美しくなってきた、五月三十一日(日)、加治木教会では天地金乃神御大祭が仕えられました。

五月の末で、爽やかな風に初夏を感じる中に、前日から、お掃除をはじめ、お直会や玄関幕・小旗・下足箱などの準備の御用に、おかげを蒙らせていただき、御大祭をお迎えする心の準備をさせていただきました。

当日は、天候のお繰り合わせを頂き、暑くもなく良いご祭典日和でもあり、お参り日和でもある一日となりました。

当日のご祭典は、教会長先生ご祭主のもと麗しく仕えられ、ご祭典後のご教話は、ここ数年間ご本部内局の教会部長の御用に当たられておられた、大口教会長 安武秀信先生が、ご本部を退かれ大口教会に帰られて教会御用に専念できられるようになられ、このたび久々に、加治木教会の御大祭でご教話下さることとなりました。

加治木教会 天地金乃神後大祭 / ご教話 安武秀信先生(大口教会長)…P1~5
信徒部教区 委員会 バンド練習…P6 お知らせ…P7・8

天地金乃神御大祭前夜

← 仕事が終わってから
小旗や玄関幕、下足箱
などの準備をおかげ家
らせてらせていただき
ました。



「ご教話では「神人あいよあけよの生
活運動」の内容について、「信者さん
が御取次頂かれる悩みや、ご自身で体
験されたポリープ切除手術の経緯を
とおして、どのように現わして実践し
ていくべきか、親身に具体的にお話し
下さいました。」
(次頁から 4回
ほどに分けて掲載)

2階ホールは、
先生方の更衣と
直会があるので
特に入念に…



前日、御用奉仕の昼食は真心のこもった、美味しい
炊き込みご飯や、おかずが持ち寄られ…



前講の梅木博光先生
(多良木教会長)



午後まで
かかっの
卵焼きが
美味し
そう
でした



活け花が
見事に
上がり
ました。



加治木教会
天地金乃神御大祭ご教話

「ここまでのお礼」と 「ここからの願い」

①

講師
大口教会長

安武秀信先生

皆様おめでとーいございます。

しばらくの間、お話しのお用に当たらせていただきます。

常々信心では「ここまでのお礼」と「ここからの願い」とが大事だと思っております。

その御礼と申しましても、御礼を申す事柄がわかりませんと、御礼の言いようがありません。

四月二十六日、かなり遠隔地の方ですが、年に一回だけお見えになって、霊祭を仕えられます。

二十七日が息子さんの立日ですから、だいたいその頃になるとお見えになります。霊祭を仕えられます。もともと大口に居られた方です。



大口教会長
安武秀信先生

いつもはご夫婦で見えるのですが、今年のご主人とご長男の二人でお見えになりましたので「奥さんはどうかなされましたか」と聞きますと「膝に水がたまって家の中も杖を突いて歩いている状態で、とても大口までは来られませんので今日は長男と二人で参りました」といっていました。

「奥様はおいへつになられましたか」と聞きましたら「六十七才です」とのことでした。

「それならば、お帰りになられたら奥様にお伝えください、六十七年間その足を使わせてもらったから歩くこともでき仕事もでき自動車にも乗ることができ、いろんなことができただけですから、シッカリ六十七年間のお礼を申させてもつうて、それから治療にあたられるように」と申させてもらいました。

すると「はい、さっそく伝えさせてもらいます」と言ってお帰りになられました。

今、学院長をなさっております日田教会の堀尾光俊先生が、こんな話をしておられました。

日田のある病院に行かれたところ、待合室でお年寄りの方が何人かでお話されてあった中の一人が足をポンとたたいて「このクソ足が」と言われたそうです。

おそらく足が痛いとか膝に水がたまっているとかなんでしょうが、堀尾先生はそれを聞いてびっくりされたとのことでした。

その方たちの年齢のことは聞いておりませんが、七十才ならば七十年間足を使うことができたから、仕事もでき車の運転もできてきておるのでしようから、そのお礼も言わないで、痛くなったから「このクソ足が」と言いつ、足に心があつたならば、悲しい思いをするでしょう。

道理がわからなければお礼の言いようがありません。

「ここまでのお礼」と申しますけれども、ここいつ人にとってみれば道理がわからずお礼の申しようがないのです。

しかし、金光様の教えを聴いてへばんとにそうだな、六十年七十年お世話になった足だなくということになれば「ありがとうございます」とお礼を申

すじごとがとぎまぐ。

そういう道理がわからないうちに、神様へのお礼ひとつ申し上げることができないのです。

☆

私方は、四月十九日に御大祭を仕えさせていただきましたが、その前日というのは教会にとってはとても忙しいのですが、その前日、「めったにお参りされない方が参って来られました。」

忙しい時でしたが、お取次は大事なことです。お結界に座らせてもらいました。

すると「去年結婚しました。今妊娠三月目で、十一月の末が出産予定です。」と報告され、今後のご主人との生活設計などを相談に来られたのです。そのご主人という方は金光教の「の字も知らない初めての方なのですが、奥さんが連れて来られているのです。」

それで、お道のことを少しでもわかってもらいたいと思ひまして、このよな話をしました。

今あなたのお腹の中にいる胎児は、臍の緒をとおして、あなたからあらゆ

るすべての物を頂いて、十ヶ月十日成長していく、そうすれば胎児にとってあなたの体は天地ですよ、胎児にとって母体というのは天地そのものです。一切を母体から頂いて生かされて生きている。そうして十ヶ月十日経つとオギャーと生まれてくる。臍の緒が切れる。肉体的にそこで親子の縁が切れ、この世に生まれてくる。そのとき新たな臍の緒ができます。何かわかりますか。

この世にオギャーと生まれてきたら、こんどは、空気を吸う、お水を頂く、まずはお母さんのおっぱいを頂くのですが、やがて食物を頂く…、天地の整えて下さったものを頂いていく。見えない臍の緒が、口を通して天地とつながるでしょう。見えない臍の緒をとおして、天地が調えた物を口から頂いて、五十年・六十年・七十年・八十年と生かされていく。

そして、その臍の緒が切れるときというのは、水も飲めなくなる食物も頂けなくなる、空気も吸えなくなる、そのときが臨終で、あの世に霊が誕生するときです。

ですから、教祖様は「天地の大恩を

知って…天地金乃神」と教えられた。それはどういふことかというところ、ちよとあなたのお腹の中にある胎児が、お母さんのあなたに向かっている。がとうというのと同じですよ。

この天地の間に生きておるといふことはそういうことです。胎児がお母さんにありがとうと言つようなものです。

胎児にとって、お母さんが天地そのものであると同時に、お母さんの考えや思いというのは、神様そのものです。よ。

胎児をかわいと思う、慈しみ思う、そのお母さんの思いが神様そのもの。それと同じように、私どもはこの天地のお恵みを頂きながら生かされ生きている。その天地を守りお鎮まりくださる神様の思いがそうなのです。私どもは、そういう関係にあります。

そのようなことをお話しさせていただきます。

☆

間もなく六月、季節は苗代・苗床を作つて田植えが始まります。

もうすでに天地は私たちを生かさんかための準備を始めておられるの

です。

このように、六月に田植えをして十月に取り入れをするのを単純計算しますと、五かけるの三十日、かけるの二十四時間、かけるの六十分は、二十一万六千分になる。

二十一万六千分、昼夜間断なき天地のお働きというものが、一(ひと)穂の稲を育てている。

それに対して、人間はどれだけ力を費やすのか。

米という字は八十八とも書くので、八十八日手を加えるのかもしれない。

しかし、その八十八日も、二十四時間ではありません。十時間か十一時間手を加えるのですが、それに六十をかけて分に直して、あの広い田んぼのひと株ひと株の数で割っていったら、恐らくひと株に手を加えた時間は一分にも満たないでしょう。

わかりやすく、一(ひと)株の稲にかける労力が一分とすると、その人間の一分の力を二十一万六千分の働きが支えているというこ



です。

それでお米ができてくるのです。甘木の初代はもっと緻密に計算しており、二十万七千三百六十分と話してあります。

私より一週間ほど少ないのです。六日間少ないのです。

二十万七千三百六十分であると、それに対して人間の働きは一分と見てあります。

それだけのものが天地のお恵みとしてひと穂の稲を育てるのであります。

私は、紹介していただきましたように金光に八年間おりまして独り身の生活でしたから、スーパーに行つて二キロ入りのお米を買つておりました。だいたい八百円から九百円でしたが、この九百円は誰に向かって払っておるのかといいますと、人間の働きの一分に対して払つてゐるのです。

その二十一万六千倍の働きに対してはタダ取りです。

信心する者はそこに気付く、その天地のお恵みがわかるから、そこに

「ありがとうございます」とお礼を申すのです。

九百円を払って俺の物といつていただきます、たった一分にだけしか払っていないのです。

その二十一万六千倍の働きに対しては一言のお礼も言つてないのです。

お百姓さんだつて、田んぼから刈り入れをするときに、「ありがとございませう」と言つて田んぼの中に一万円札を埋めた人はおりません。みんなタダ取りです。

人間が生きる上においては、すべてそういう物をお恵みいただいたいて私どもは生かされて生きておるのです。

その天地のご恩を知らずに、私たちが生きるために空気も水もすべて一切を天地が調べて下さっているのに、だれ一人としてお礼を言う者がいなかったところに、教祖様がご出現なさつて教えてくださったわけです。

天地のご恩ということを教えて下さったので、それから私どもは、天地のお働きに対して「ありがとございませう」というお礼が言えるようになってきたのです。

それが金光教の信者です。(つひへ)

信徒部教区委員会

に参加させていただいて

六月六日(土)・七日(日)、宮崎市にある大淀教会で、金光教南九州教区信徒部の教区委員会が開かれ、鹿児島地方教会連合会から、満留敏弘先生(中末野教会)入木 覺さん(大石教会)中野義則さん(鹿児島教会)内門三朗さん(鹿児島教会)と私(上田和也)の五人で参加させていただきました。

南九州の各連合会から、合計十八名の委員が出席し、今年度上半期の行事報告と、下半期の行事の予定を確認し、御用のお役に立つことのできる信徒会のあり方を求めさせていただきました。

委員会では、センター所長の森義信先生の玖珠町教会初代教会長夫人のご信心の教話を聴かせていただき、朝の御祈念では大淀教会の歴史について聴かせていただきました。

また、往復の車中では、鹿児島島の先輩の信徒部教区委員から、それぞれの教会や家庭で取り組んである信心の内容について聴かせていただき、皆信

心を真剣に考え努力や工夫をしてあることを知り、勉強になりました。

〔上田和也〕



教区委員会の協議が始まる...



大淀教会

加治木教会 バンド練習会

毎週金曜 午後7時半より
(自主練習)水曜午後7時半より

バンド隊は、矢野サタ子大刀自三年祭(七月五日)での追悼演奏と、全国大会「かがやけ大行進」(八月九日)と、御大祭などでの発表を当面の目標

にして練習しています。

私たちは、親神様から、命をはじめ万物を恵まれています。また、祈られ守られおかけを蒙らせていただいていることを信心を進めてよく知って、御礼の御用として取り組み、よろこびを現わしていきましょう。

ガンパってまーす!



6/19 (金)



6/12 (金)



6/12 (金)

少年少女全国大会に向け(7月末まで)

まごころ運動

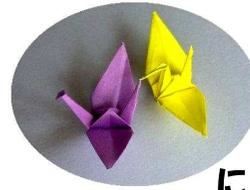
に取り組みましょう。

平和の折りづる

※古切手・古カード

えんぴつ(新)

を集めます。



▼換金後 海外の悪まれない子どもたちへ送られます。

使用済み切手収集についてのお願い

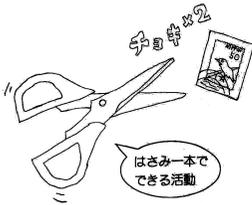
※切手ははがさないで、以下の要領で切り取ってください。

※切手の周囲を5mm程度あけて切り取ってください。

※枚数を明記してお届けください。

※外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。

使用済み切手の収集は少年少女全国大会「まごころ運動」の取り組みのひとつです。



8/2(日) 夏のつどい

連合会主催

5/27

鹿兒島市の健康の森公園に追跡ハイクの下見に計画会議に行ってきました。

みんなでさんかしようついでハイクしたあとでフールで楽しもう

(上田和)



七月のご霊神様のおえ日

川畑祐義 之霊神(7日)平成17年

中野 繁 之霊神(9日)昭和54年

大山ちあき之霊神(12日)平成13年

村上淑子 之霊神(13日)昭和52年

福山悦子 之霊神(13日)平成2年

津上基次郎之霊神(18日)昭和31年

金竹重利 之霊神(19日)昭和60年

山本豊子 之霊神(19日)昭和3年

上田スギ 之霊神(19日)平成21年

福元三次郎 之霊神(20日)昭和33年

須藤禮子 之霊神(22日)平成18年

平地政男 之霊神(25日)昭和21年

前田ツネ 之霊神(27日)昭和60年

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

あしあと

加治木教会行事記録

6月

1(月) ●月例祭(報徳) 10時半

5(金) バンド練習

9(火) 斎掃御用 10時

10(水) ●月例祭(天神様) 10時半

12(金) バンド練習

15(月) 龍笛練習 20時

17(水) 5/18(木) 教区教会長教師研修会

19(金) バンド練習

20(土) 斎掃御用 10時

21(日) ●月例祭・共励会 10時半

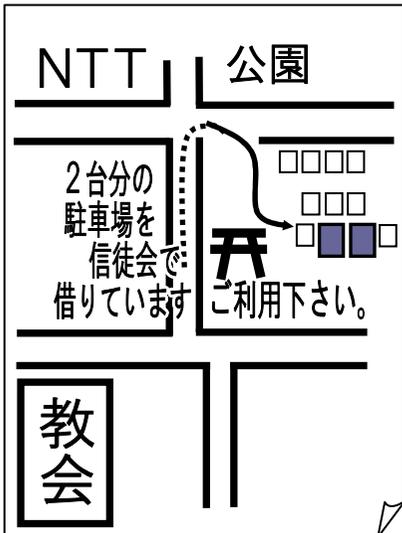
併せて 加治木教会 布教64年記念祭

24(水) バンド練習

25(木) 若婦人会 13時半

27(土) 斎掃御用 10時

28(日) 上半期感謝祭 10時半



鹿児島地方教会連合会主催 場所：鹿児島教会
 鹿児島地方布教百二十年記念
 七月五日(日) 十時半より

信奉者研修会

講師 上荒田教会長

宮内政雄 先生

真心発表 信徒三名

木脇明子氏(鹿児島教会)

崎向義昭氏(枕崎教会)

森田禮子氏(大口教会)

昼食：400円(幕の内弁当)
 必要な方はお申込み下さい
 ※詳細別紙参照

七月十七日(金)

甘木親教会

祈願祭 参拝

出発 午前七時半 帰着 午後七時頃

七月十二日(日) 十一時より

加治木教会 前日御用奉仕

祈願祭に併せて

矢野サダ子 眞心 大刀自三年祭 執行

ご祭主 甘木親教会

ご教話 安武道 義親先生

八月八日(土)〜十日(月)

少年少女全国大会 参拝

出発 八日午前八時 帰着 五日午後七時半頃
 旅費 大人 二〇〇〇円 中高生 一八〇〇〇円

小人 一五〇〇〇円 幼児 七〇〇〇円

教会行事

7月

- 1 (水) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (金) 親教会参拝日 (参拝できるか否かは未定)
- 5 (日) (連) 信奉者研修会 (鹿児島教会)
- 8 (水) さつま会 (連合会婦人教師会 運動者交流センター) 10時半
- 10 (金) ●月例祭 10時半 (後、三年祭 準備御用)
- 11 (土) 御用奉仕
- 12 (日) 加治木 祈願祭 に併せて 教会
- 16 (木) 甘木親教会 教師壮年部会
- 17 (金) ●甘木親教会 祈願祭
- 21 (火) 斎掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭 引き継ぎ 共励会 13時半
- 31 (金) 斎掃御用 10時

8月

- 1 (土) ●月例祭(報徳) 10時半
- 7 (金) 斎掃御用 10時
- 8 (土) 少年少女全国大会 出発
- 9 (日) 少年少女全国大会 当日
- 10 (月) 少年少女全国大会 帰着
- 11 (火) 星原家霊祭
- 12 (水) ●月例祭(大神様) 併せて 霊祭 10時半
- 19 (水) 20 (木)
- 21 (金) 甘木親教会 婦人教師会 斎掃御用 10時
- 22 (土) ●月例祭(天地堂) 乃神様 共励会 13時半
- 23 (日) (連) 女性の集い (運動者交流センター) 十時〜十五時 (南九州支部 日田教会にて)
- 30 (日) 典楽講習会 (10時)
- 31 (月) 斎掃御用 10時

KONKOKYO 金光鹿児島地方教会連合会 青少年育成協議会

夏のつどい 親子健康ピクニック

とき 8/2(日) 10:30~AM

集合場所...かごしま健康の森公園
 持ってくるもの...お弁当・水筒・帽子・水着など(7-11入場料支給)
 対象...子供も大人もみんなどうぞ!
 内容...ゲーム・バタ・ゴルフ・7-11あそびなど

〇参加申込み...7月末日までに教会で参加希望の旨を、加治木教会、矢野里までご連絡下さい。
 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653 / E-mail konkom.kajiki@kai.biglobe.ne.jp

加治木教会 バンド練習会
 毎週金曜 午後7時半より
 〈毎週水曜 午後7時半より自主練習〉
 今年も練習会に参加してお役に
 立たせていただきますように。